

令、4年度 きなりこどもえん自己評価

きなりこどもえん 園長 建部真貴子

学校関係者評価委員議長 吉澤 俊道

評価分類	評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会	
		園としての反省と改善案	評価	学校関係者評価委員会の意見	評価
社会人としてのマナー	教職員として意識し、職員同士がチームであることを意識し、行動できているか。	ほぼ全員の職員が社会人としてのマナーと教職員としての自覚を持ち行動している。今後も教職員同士の連携と協調性をさらに高めていきたい。	A	職員一人ひとりが明るく挨拶することができている。とても印象がよく感じられる。	A
保護者への対応	個人情報を通正に取り扱いし、保護者に対して区別や差別をすることなく対応できているか。	教職員は個人情報遵守に取り組んでいる。保護者への意見は謙虚に受け止め話を聞くようにしている。保護者に対して平等に挨拶や声掛け等を大切に信頼関係を保つようにしている。	A	個人情報の取り扱いを通正にしている。どの保護者に対しても公平に対応をしている。	A
地域社会	地域の行事など興味関心を持って参加することができるか。	地域の小学校と小学校入学に向けて交流も行われている。消防の消火訓練や交通安全協会の指導員の方たちとも指導を交えながら交流も行った。	B	地域との交流も積極的にしている。地域の住民のご意見も真摯に受けて止めていて誠実に対応しているのが感じられる。	B
研修・研鑽	研修等、向上心を持って参加することができるか。	今年度はZoomでの研修が充実していた。社会的に問題になった事など研修を充実させた。今後も個々の意識を高め、より良い園にしていきたい。	B	園外研修だけでなく、園内研修を多く実施されているようである。タイムリーな問題にもすぐ対処をして研修しているのが見られてよいと感じた。	A
専門職	園の教育方針、理念を理解し、子ども達に合った保育に努めることができるか。	事故防止に努めながら、乳幼児の発達や特性を理解し、日常生活や遊びの中で幼児教育や保育の質の向上につなげている。さらに継続していきたい。	B	幼児教育や保育内容がより充実したものとなるようより努めてもらいたい。	A
	総合	新型コロナウイルスの発生により3年目、様々な感染対策を行いながら少しずつ以前の生活を取り戻している。今年度、初めて卒園児、保育者はマスクなしで卒園式を行うことができた。	B	今年度も保育業界は話題の尽きない一年だったが、行政の指示の下、一生懸命対応している姿が見られ、保護者からも高い評価と信頼関係を築けている。	A